

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

不祥事根絶のための行動計画

- 1 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 2 私たちは、法令等を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 私たちは、地域に開かれた学校にします。

自分育て

い いただく
た 楽しむ
き 気概・挑戦
に 担う・誇り
し 思考・思慮

教育の原点は、
自らを教育し続ける
ことです。

東広島市立板城西小学校
作成責任者 校長 兼島 久美

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修が形骸化している。 ○不祥事への認識が甘い場面が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修の方法や内容を見直し、自分事として捉える研修を実施して、研修効果が実感できるようにする。 ○社会人として、あたりまえのことをあたりまえに行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員が服務研修の講師になり、服務の中で自分が弱いと思える項目について、研修を行う。 ○児童の前に立つ教師として、児童に指導していることを、まず自分から実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行動計画の振り返りを学年末に行う。 ○チェックリストにより確認する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○個々人の自覚に任せがちになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○分掌部会や各委員会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の教職員に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○管理職による校内巡視を行い、児童や教職員の様子を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月に1回、不祥事防止委員会を開き、情報交換を行い、状況を把握し、必要な対策を行う。 ○目的を持って校内巡視を行い、情報を共有する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初のみであり、認知度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の掲示を、各学級に貼り、児童にも知らせる。 ○児童との信頼関係を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○児童の様子を全教職員で観察し、複数体制で指導するようにする。 ○いじめ・体罰・セクシャルハラスメントの児童・保護者アンケートを実施し、早急に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口の保護者の周知度をアンケートで確認する。 ○児童・保護者アンケートにおける聴取記録を作成する。